

Message Broadcasting

Message Broadcasting は EasyMP Monitor 用のプラグインソフトです。

Message Broadcasting を使って、ネットワーク接続されたすべてのプロジェクター、または指定したプロジェクターにデータ (JPEG ファイル) を送信し、投写することができます。データは手動で送信したり、EasyMP Monitor のタイマー機能を使って自動的に送信したりできます。

動作環境

コンピューターに EasyMP Monitor 4.50 かそれ以降のバージョンをインストールしておきます。

Message Broadcasting をインストールする前に、次の点をご確認ください。

- 動作可能なコンピューター
Windows® 8、Windows 7、Windows Vista®、Windows XP、または Windows 2000 Professional
- プロジェクターが Message Broadcasting に対応していることを確認しておきます。
対応情報については以下のサイトで確認することができます。
<http://www.epson.jp/support/>
- データを送信するプロジェクターを EasyMP Monitor に登録しておきます。

インストール

エプソンホームページから Message Broadcasting をダウンロードし、説明に従ってインストールしてください。

投写するデータを用意する

JPEG 形式のデータを用意します。

1920 × 1200 画素までの JPEG 形式の画像データを投写できます。

作成例

Microsoft® PowerPoint® で作成したスライドを JPEG 形式で保存する

1. PowerPoint の「ファイル」メニューから「名前を付けて保存」を選択します。
2. 保存ファイル形式で「JPEG ファイル交換形式 (.jpg)」を選択し、[保存] をクリックします。
複数枚のスライドのときは、「現在のスライドだけを保存する」か、「すべてのスライドを保存する」のどちらかを選択します。

note

データを送信するプロジェクターの「拡張設定」メニューの「待機モード」を「通信オン」に設定しておくこと、Message Broadcasting のデータを受け取ったときに、プロジェクターの電源が自動で入ります。

データを送信する

JPEG データや、複数の JPEG データが入ったフォルダを指定して、スライドショーとして投写できます。

手動で送信する

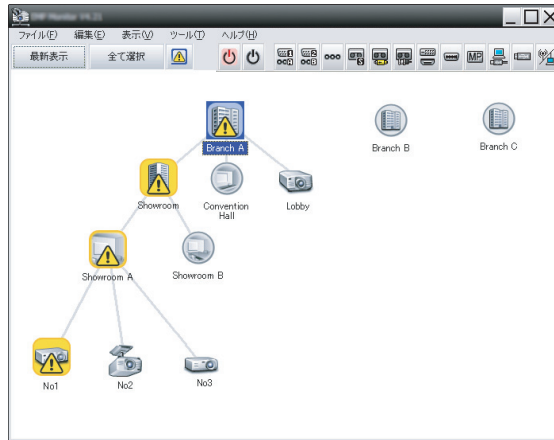
JPEG データや、複数の JPEG データが入ったフォルダを選んで送信します。

note

ここでは「グループ View」画面で説明しています。「詳細リスト View」画面は表示が異なります。

1. EasyMP Monitor を起動します。

以下の画面で、登録されているプロジェクターの構成とプロジェクターの状態を確認できます。

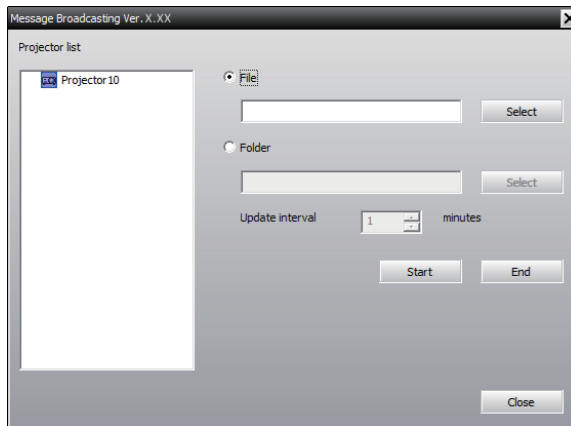


2. 「ツール」メニューの「Plug-in」から「Message Broadcasting」を選択します。

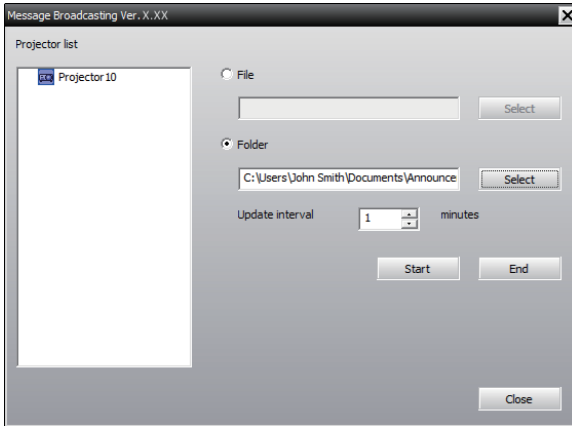
Message Broadcasting 画面が表示されます。

note

Message Broadcasting の操作画面で表示される言語は、英語のみとなります。



3. データを送信するプロジェクターまたはグループを選択します。
4. 送信するデータに合わせてチェックボックスをクリックします。
[File]： 単一のデータを送信する場合
[Folder]： 複数のデータを送信する場合
5. [Select] をクリックし、送信するファイルまたはフォルダを選択します。
選択した内容が表示されます。



6. フォルダを選択した場合は、スライドの切り替え時間を指定することができます。
[Update interval] で指定します。
7. [Start] をクリックします。
指定したデータが選択したプロジェクターに送信されます。
選択したプロジェクターが別の映像を投写している場合、Message Broadcasting から送信したデータに切り替えて投写します。
8. [End] をクリックすると、送信したデータの投写を終了します。
[End] をクリックするまで、送信したメッセージを投写し続けます。
スライドショーを設定している場合は、最後のスライドを投写した後、再び最初から投写します。

note

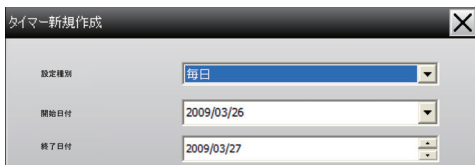
各プロジェクターからも投写を中止できます。
本体操作パネルまたはリモコンの [戻る] ボタンを押します。
Message Broadcasting から投写を再開する場合は、プロジェクターの電源を入れ直してください。

4. [追加] をクリックします。
タイマー新規作成画面が表示されます。



設定種別	日付
日時	2008/11/18
時刻	19:33
動作	Power ON

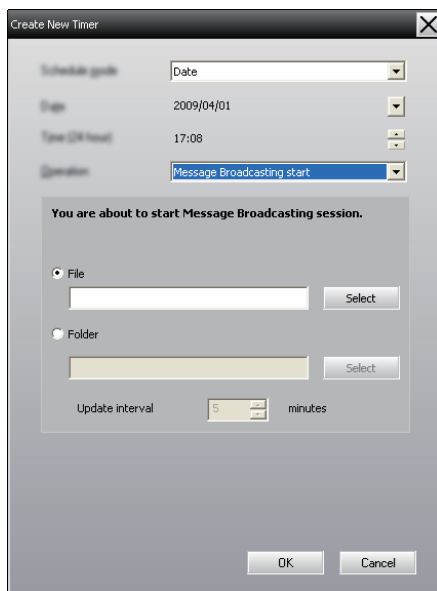
5. [設定種別] の ▾ をクリックし、次のいずれかを選択します。
- 日付：送信する日付を指定します。
 - 毎週：送信する曜日を選択します。複数の曜日を指定できます。
 - 毎日：送信を開始または終了する日付を指定します。指定した期間、毎日データを送信します。



設定種別	毎日
開始日付	2009/03/26
終了日付	2009/03/27

6. 送信を開始する時刻を指定します。

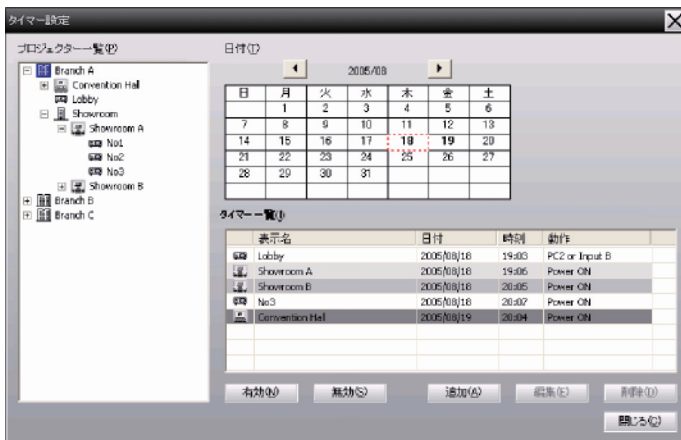
7. [動作]の▼をクリックし、「Message Broadcasting start」を選択して [OK] をクリックします。
次の画面が表示されます。



8. 送信するデータに合わせてチェックボックスをクリックします。
[File] : 単一のデータを送信する場合
[Folder] : 複数のデータを送信する場合
9. [Select] をクリックし、送信するファイルまたはフォルダを選択します。
10. フォルダを選択した場合は、スライドの切り替え時間を指定することができます。
[Update interval] で指定します。

11. [OK] をクリックします。

設定した送信スケジュールがタイマー設定画面に表示されます。



12. 投写終了時刻を設定します。

[追加] をクリックし終了時刻を指定した後に、[動作] ボックスで「Message Broadcasting end」を選択して [OK] をクリックします。

終了時刻を指定しないと送信したメッセージを投写し続けます。

設定した送信スケジュールの有効 / 無効を切り替えたり、設定の編集や設定を削除をすることもできます。

13. [閉じる] をクリックします。

設定内容が保存されます。

note

各プロジェクターからも投写を中止できます。

本体操作パネルまたはリモコンの [戻る] ボタンを押します。

Message Broadcasting から投写を再開する場合は、プロジェクターの電源を入れ直してください。

困ったときは

指定したプロジェクターでデータが投写されないときは、次の点を確認してください。

- お使いのコンピューターで、EasyMP Monitor がファイアウォールの例外に指定されているか確認してください。
- 一部のプロジェクターでメッセージが投写されない場合は、プロジェクター本体の「拡張設定」メニューの「待機モード」の設定が「通信オン」に設定されていることを確認してください。
- 送信したデータの投写が開始されてからプロジェクターの本体操作パネルまたはリモコンの [戻る] ボタンを押して投写を終了した場合は、プロジェクターを再起動しないと Message Broadcasting からのデータを受信することができません。プロジェクターの電源を入れ直してください。